・ まちづくりガイドラインの目的

近年、急速に進む少子高齢化社会、地球規模の環境問題、都市の中心部における衰退化、都市財政の圧迫など、都市を取り巻く状況は大きく変化してきております。

また、人々の価値観やライフスタイルなども大きく変化してきており、“生きがい”や“豊かさ”、“潤い”などといった質の高いまちづくりが求められてきております。

国においても、今後の都市のあり方については、持続可能なコンパクトな集約型都市構造が望ましいとし、その実現化に向け様々な取り組みを掲げてまちづくりの推進に当たっています。

このような背景の中、本まちづくりガイドラインは、習志野市の玄関口である「JR津田沼駅周辺地区」を対象に、市のまちづくり構想との整合を図りながら、市の顔として、またモデル地区となるよう、現在施行中のJR津田沼駅南口の土地区画整理事業地区に主点を置きながら駅周辺地区のまちづくりについて、特に景観、環境、また安全・安心の観点から専門的な提言を行うことで、良好な都市環境の創出、都市機能の向上及び地域個性の伸長を図り、社会状況の変化等に柔軟で持続可能な都市の実現化に資するように作成しました。

市民、開発者、企業及び行政の民と官がお互い役割分担のもとに協力、協調しながら実践していくこれからのまちづくりにおいて、まちづくり協定などのルールづくりや地区計画の策定など、本まちづくりガイドラインの積極的な活用を図っていくことで持続しつづける付加価値の高いまちづくりの実現化を目指すことが望まれます。